

忘れない、東日本大震災から10年 新日本フィルハーモニー交響楽団 “思う心のコンサート”

◆出演者等変更のお知らせ◆

クリスティアン・アルミンク(指揮)から
井上道義(指揮)に変更して開催致します。
また、これに伴い、プログラムの一部を変更
させていただきます。

指揮:井上道義

ヴァイオリン独奏:崔文洙

管弦楽:新日本フィルハーモニー交響楽団

2021年3月6日(土)

16時00分開演(15時15分開場)

※15時45分より東海市子どものオーケストラによる
プレコンサートがございます。

東海市芸術劇場 大ホール

主催:東海市・東海市教育委員会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)



独立行政法人日本芸術文化振興会

協力:日本音楽財団(日本財団助成事業)

感染症拡大予防に関するお願い

- ご来場の際は、マスクの着用等、感染予防にご協力をお願いいたします。
- 発熱等の風邪症状が認められたお客様は、ご入場をお断りする場合がございます。予めご了承ください。





PROGRAM



●東海市子どものオーケストラによるプレコンサート 行進曲「威風堂々」第1番

<解説>

イギリスの作曲家エドワード・エルガー(1857-1934)の代表的管弦楽曲のひとつ。中間部の有名なメロディーはイギリスで「希望と栄光の国・・・」という歌詞が付けられ歌われることもあり現在も広く愛されている曲です。

1、マーラー／”アダージェット”(交響曲第5番より第4楽章)

<解説>

ウィーンで活躍した作曲家・指揮者のグスタフ・マーラー(1860-1911)の交響曲は世界中で頻りに演奏されていますが、第5番は代表作品のひとつで、本日演奏される“アダージェット”はその第4楽章にあたります。“アダージェット”は速度記号の“アダージョ”(ゆっくりと)よりやや速く、を意味し、この楽章は弦楽器とハープで演奏され静謐さを湛えています。新日本フィルは10年前の3月11日、東日本大地震当日の夜、すみだトリフォニーホールに足を運んだ約105人(実際は完売公演)の聴衆の前でこの交響曲第5番を演奏しました。

2、ブラームス／ヴァイオリン協奏曲ニ長調(独奏:崔文洙)

第1楽章 Allegro non troppo

第2楽章 Adagio

第3楽章 Allegro giocoso, ma non troppo vivace - Poco più presto

<解説>

ヨハネス・ブラームス(1833-1897)はハンブルク(ドイツ)で生まれ、その後ウィーンを中心に音楽活動(作曲・ピアノ・指揮)をしました。4曲の交響曲をはじめ、協奏曲、器楽曲等、多くの作品を遺していますが、本日演奏するヴァイオリン協奏曲はブラームスにとっての代表作のひとつであるばかりでなく、ベートーヴェン、メンデルスゾーン作曲のそれと並び“3大ヴァイオリン協奏曲”と言われることもあります。初演はブラームスが自らライブソビ・ゲヴァントハウス管を指揮し、友人であり、後世にも名を残すほどのヴァイオリニスト、ヨーゼフ・ヨアヒムの独奏によって行われ、成功をおさめました。

————— 休憩(20分) —————

3、ブラームス／交響曲第2番ニ長調作品73

第1楽章 Allegro non troppo

第2楽章 Adagio non troppo - L'istesso tempo, ma grazioso

第3楽章 Allegretto grazioso (Quasi andantino) - Presto ma non assai - Tempo I

第4楽章 Allegro con spirito

<解説>

ブラームスは交響曲を4曲書いていますが、最初に大きな成功をおさめたのが本日演奏する2番です。作曲は避暑地先のベルチャッハ(ドイツ)のヴェルター湖畔で着手し進められ、約4か月で完成しています。これは慎重を期して書いた第1番に比べると圧倒的な速さで、それほど穏やかな自然に囲まれた避暑地がブラームスにインスピレーションを与えた場所だったのかしれません。作風からも「ブラームスの田園交響曲」とベートーヴェンの「田園」からたとえられることもあります。初演はハンス・リヒター指揮、ウィーン・フィルによるもので成功をおさめていますが、その後ハンブルクで自らの指揮で再演し、出身地でありながら自身のキャリアが中々築けなかった当地でリベンジ的大成功を果たしました。当時高名なピアニストでブラームスの師であった作曲家シューマンの未亡人、クララ・シューマンは生涯を通じてブラームスの良き相談者でしたが、1番交響曲にはあまり感心しなかった彼女もこの演奏会に立ち合い、ブラームスの成功を自身の事の様に喜んだと言われています。作品は全4楽章からなっています。

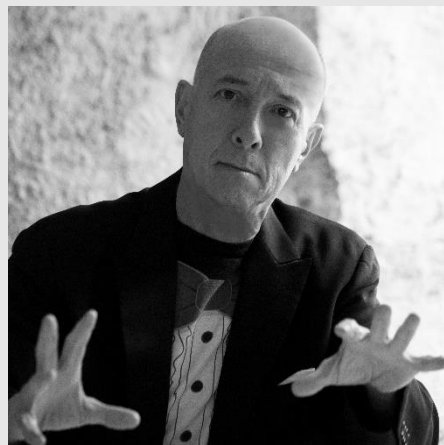


PROFILE



井上 道義(指揮)Michiyoshi Inoue

ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2017年大阪国際フェスティバル「バーンスタイン:ミサ」を、2019年オペラ「ドン・ジョヴァンニ(森山開次演出)」を、2020年オペラ「フィガロの結婚(野田秀樹演出)」を、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」、2018年「大阪文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。



©高木ゆり子



©新日本フィルハーモニー交響楽団

崔 文洙(ヴァイオリン)Munsu Choi

東京生まれ。桐朋学園大学ディプロマコースを経て1988年モスクワ音楽院でワレリー・クリモフ、セルゲイ・ギルシェンコの両氏に師事。1997年小澤征爾に認められ新日本フィル・コンサートマスターに就任。2000年同楽団のソロ・コンサートマスター。独自のリサイタルで各方面から注目を集める。一方、ソリストとしても小澤征爾、クリスティアン・アルミンク、ダニエル・ハーディング、小泉和裕、レオン・フライシャー、故ゲルハルト・ボッセ氏等と共演。2016年第17回ホテル・オークラ音楽賞 受賞。

新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)New Japan Philharmonic

1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。97年、墨田区に移転。すみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行う日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も特徴的。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞等。2016年9月より指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めている。この他、04年に音楽家・久石譲と立ち上げた“新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ”で幅広い人気を集め、映画『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』『崖の上のポニョ』では管弦楽を担当。



©三浦興一

東海市子どものオーケストラ(開演前・プレコンサート)

東海市芸術劇場が開館した2015年度より活動を行う、小学生から高校生までのオーケストラ。名古屋フィルハーモニー交響楽団の楽員を講師に迎え、楽器演奏の基礎からオーケストラ形態での合奏まで幅広く学ぶとともに、劇場主催公演ではソリストや歌手・合唱団と共演するなど、活動の幅を広げている。

館長兼芸術総監督よりご挨拶

本日はご来場頂き誠にありがとうございます。今年はコロナ禍に襲われ、一時は日本中が無力感に覆われた様なこともありました。私はその中で何度も“音楽”に救われました。“不要、不急”という言葉が頻りに耳にしましたが、「ひとにとって音楽は不要、不急ではない！」と却ってこの時期が確信を持たせてくれました。

新日本フィルはその“音楽”を常に中心に据えて歩んできたオーケストラですが、10年前の大地震時も、この度も、やはり自らの本分である音楽を真摯に仲間たちと一緒に作り、世に送り出し、共に乗り越えるべく前に進んでいます。

本日は「わたしたちには音楽が必要だ！」と皆様に実感して頂ける公演になることを確信しています。最後までごゆっくりお楽しみください。

東海市芸術劇場 館長兼芸術総監督 安江正也

芸術劇場 INFORMATION

東海市民合唱団 第6回定期公演



2021年**3月21日**(日)

15時開演[14時15分開場]

東海市芸術劇場 大ホール 全席指定 (未就学児入場不可)

【出演】横山琢哉 (指揮)、
江川智沙穂 (ピアノ)、
東海市民合唱団 (合唱)、
東海児童合唱団 (賛助出演)

【料金】一般 800円 / 小中高生 200円

【チケット】3階劇場事務室にて取り扱っております。

名フィル・ベートーヴェン

「第九」特別公演

2021年**7月25日**(日)

15時開演[14時15分開場]

東海市芸術劇場 大ホール 全席指定 (未就学児入場不可)

【出演】飯守泰次郎 (指揮)、
田崎尚美 (ソプラノ)、池田香織 (アルト)、
城宏憲 (テノール)、与那城敬 (バリトン)、
東海市民合唱団 (合唱指揮：横山琢哉)、
名古屋フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)

【曲目】ベートーヴェン / 「レオノーレ」序曲第3番

ベートーヴェン / 交響曲第9番二短調 op.125

【料金】一般 5,500円 / 小中高生 1,000円

【チケット】先行：3月27日(土) / 一般：4月3日(土)



©武藤章



©井村重人



©Hiromi NAGATOMO